

## 海上地区愛知県パビリオン

(テーマ展開)

**森の鼓動と呼吸** [ DISCOVERING THE FOREST'S LIFE CYCLES ]

「海上の森」を真摯に見つめると、ささやかな森が持つ底知れない力を発見できます。

ささやかなこの森を、「自然発見の場」として智恵と愛情をもって見つめることは、人類が、これから持続可能な社会を構築していく上で忘れてはならないものを教えてくれます。

愛知県は、開催地元として、この森（自然）の姿をマクロからミクロに至るまで解き明かし、人と自然の関わりを学ぶ場とします。



## 1 展開ストーリー

「ささやかな森」を真摯に観る、自然から学ぶ、集い学ぶ。

「海上の森」の生態系（動物、虫、植物、水、土など）を科学的に解き明かします。

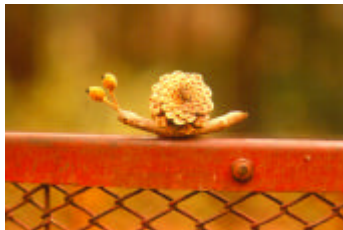
それによって、1mm以下の虫にも、人の力がとうてい及ばぬ生命のすばらしさを知るでしょう。

来館者が、そうした自然のすばらしさを学ぶことは、新しい時代の文明のありようを築くために大きな知的財産となるでしょう。

## 2 展示の展開

自然素材による立体生態ギャラリー空間

「海上の森」の自然の構成要素やそこに生息する生物を、自然素材を多用しながら再現・展示化し、立体生態図鑑の世界をつくります。その展示物には、県民参加の手作りの造形物などもふんだんに織り込みます。



「海上の森」を観るシアター空間

「海上の森」をテーマとして、1年間を通して収録された自然や生態系の姿と、「海上の森」の今（リアルタイム）の姿を織り込みながら、森の鼓動と呼吸を体験できるシアターをつくります。



ワークショップなどを行う多目的空間

愛知県内で取り組まれている環境保全や循環型のコミュニティづくり等の活動の紹介、県民が主体的に実施するシンポジウムや工作教室などの催事を行います。



### 3 施設イメージ

#### 施設規模

- ・施設面積 計 約 3,000 m<sup>2</sup> (恒久部分約 1,500 m<sup>2</sup>・仮設部分約 1,500 m<sup>2</sup>)
- ・展示面積 約 1,700m<sup>2</sup>~2,000m<sup>2</sup>

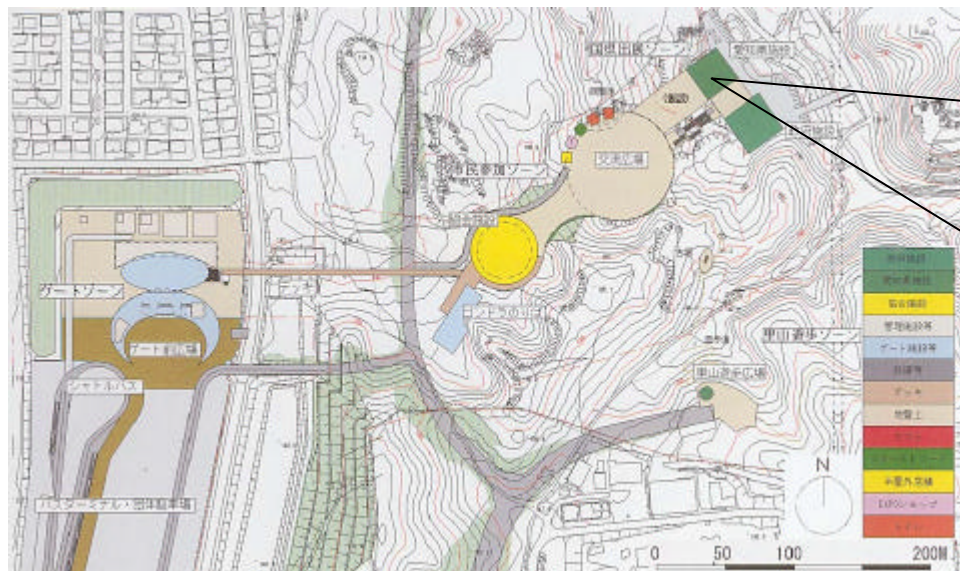
#### 空間構成

県パビリオンは、交流広場側にある仮設施設とその奥にある恒久施設からなり、展示の展開に沿って3つの空間により構成します。また、隣接する政府施設「里山日本館(仮)」との動線計画に配慮した空間構成とします。

#### 設計の考え方

- ・自然環境の最大限の保全と調和を図ります。
- ・仮設部分は撤去後のリユース、リサイクルを考慮していきます。
- ・地球環境負荷の低減を考慮した計画としていきます。
- ・木材、陶磁器など県産材を活用していきます。
- ・隣接する政府施設「里山日本館(仮)」と調和するデザインとします。

《海上地区県パビリオン位置図》



《海上地区県パビリオン構成図》

